

平成29年度志真志小学校 生徒指導の取り組み

～不登校ゼロ・いじめゼロを目指して～

不登校について

今年度児童の実態

- 欠席日数30日以上……6人(1月12日)
(男子4人 女子2人)
前年度4人増加
- 欠席日数20日以上30日未満……6人
(男子3人 女子3人)

前年度と比較して増加傾向にある。⇒本校の課題
不登校を未然に防ぐための取組として⇒
担任からの家庭への連絡・訪問、登校しぶり児童
への登校支援をSSWが行っている。

欠席児童へのアプローチ

- 生活習慣の定着（早寝、早起き）
⇒生活リズム表の活用
- 学校への不安・学習の遅れ等
⇒スクールカウンセラー・学習支援員の活用
- 欠席児童への対応
⇒担任の家庭訪問、SSWの登校支援

本校の取り組み

- 欠席児童の連絡が無い場合
 - ⇒学級担任による家庭への連絡・訪問
(欠席理由や児童の様子)
- 欠席が3日続く⇒学級担任による家庭訪問
(児童の健康状態を確認登校を促す)
- 毎週月曜日の支援会議
 - ⇒全児童の欠席状況を把握
- ケース会議の実施及び関係機関との連携
- 養護教諭による生活指導
- 校長との面談

いじめゼロへの取り組み

- 教育相談週間の実施(年2回実施)
アンケートをもとに児童一人一人と学級担任が話し合う場を設ける。
※今年度は、10月24日～10月31日に実施
- いじめについてのアンケート実施
毎月1回実施予定
(7月、12月市アンケート併用)
- 人権教室の実施
⇒人権擁護委員との連携
全教師・児童共通理解のもといじめゼロを目指す。

学校全体の共通意識として

児童の観察・児童理解に努め

⇒早期発見・早期対応を心がける。

担任一人で抱え込まず

⇒チームで対応・対策を立てる。

学校・家庭・地域で育てる

⇒地域連携を図る。

気になることは、いつでも学校に相談してください。